 日本の宝島“天草”の創造を目ざして!

天草市政だより

幻想的なあかりに
“うっとり”

主な内容

- 農業の元気は“天草の元気”
- 健全化判断比率などを公表!
- 天草市この1年

平成24年

12/1

No.160

スタート START

～私は農業を選びました～

皆さんは、市内で新たに農業を始める人が毎年どれくらいいるかご存じですか。市農業振興課によると、平成24年度の新規就農者数は17人で、これは過去5年間でいちばん多い数です。

数多くの職業の中から農業を選んだ皆さん。どんな思いを胸に、いま農業に取り組んでいらっしゃるのでしょうか。

そこで、今年度に新規就農した坂上裕紀さんと中川由美子さんに、農業を選んだ理由や農業にかける思いなどについて、話をお聞きしました。



さかうえ ゆうき
坂上 裕紀 さん
(五和町手野・20歳)

おいしいみかんを多くの人に

実家は祖父母の代から続く農家で、不知火やあまくさ晚柑などの果樹2・2haを栽培しています。家業を継ぐと決めたのは、中学生のとき。父の姿を見て「いっしょに農業がしたい」と思ったからです。荅明高校の園芸科学科、県立農業大学の果樹コースで農業について学び、今年3月に同大学を卒業してすぐに、就農しました。



◀ 収穫したみかんを
確認する坂上さん

「今、仕事の流れを吸収している段階で、毎日が勉強。早く1人前にならな

って、家業をしっかりと守っていきたいです。そして、おいしいみかんを作って、多くの人に食べてもらいたいです。

農業の元気は “天草の元気”



市の基幹産業のひとつである「農業」。私たちが生きていくためにはなくてはならない産業であり、“命をつくる”産業といっても過言ではありません。

そこで今号では、市内で農業をがんばっている皆さんを紹介합니다。

有明町小島子でみかんの栽培を手がける坂本弘喜さん・ぬい子さん・健一さんご家族。
「今年のみかんも上々のできですよ!!」

サトウキビ栽培を天草で



中川 由美子 さん
(有明町下津浦・45歳)

私は、生まれも育ちも福岡県です。福岡では飲食店を経営していた。ただ、食や健康に関心があったことから、「40歳を過ぎたら農業」という思いがあったんです。

そんな中、夫が趣味でさとうきびを作っていたこと、そして天草にある黒糖の製糖技術を身に付けたと思ったことがきっかけで、天草への移住を決意。昨年9月に移住し、現在は借り受けた農地15アールでさとうきびを栽培するほか、野菜づくりにも取り組んでいます。12月下旬には、いよいよさとうきびの収穫・製糖です。どんな黒糖に仕上がるのか、とても楽しみにしています。

天草は海や山が近くにあり、周囲の皆さんもとても温かく、私が思い描いたとおりの暮らしです。天草に来て、ほんとうによかったと思っています。

チャレンジ CHALLENGE

～企業の農業参入～

建設業をはじめとする異業種からの農業参入が、全国的に増えています。市でも、農業の振興や新たな雇用創出の機会ととらえており、その促進に取り組んでいます。

そこで、今年2月に市と農業参入に関する協定を締結し、4月から有明町大浦地区の旧有明東中学校グラウンドを借り受けて、菌床栽培による“きくらげ”の生産を開始した(有)歩産業を訪ねました。



①県と市の補助事業を活用して整備したビニールハウス ②ハウスの内部。きくらげの菌が植えられた菌床がずらりと並ぶ ③きくらげの製品化作業。いしづきの部分をていねいに取り除いて製品化される ④⑤「海辺のきくらげ」として、市内の農林水産物直売所をはじめ横浜市にある天草宝島市場にも出荷 ⑥同社の皆さん。地元の有明町大浦地区からは7人の雇用が生まれました

【問い合わせ先】
(有)歩産業 ☎540040

まだスタートしたばかりですが、こだわりを持って栽培した商品を、「おいしい」といつてもらえたときの喜び『農業の醍醐味』を、日々実感しています。

農業の醍醐味を 日々実感



(有)歩産業
塚本智子 代表取締役

もともとは建設業でしたが、公共工事の減少に伴い、数年前から新たな事業展開を模索して行きました。そんな中、出会ったのがきくらげです。

国内で流通しているほとんどが中国産であること、また、栄養豊富な食品であることなどに将来性を感じ、取り組むことを決意しました。



▲耕作放棄地を再生・利用して植えられたボタンボウフウ（御所浦町）

目ざすは、天草の発展

ボタンボウフウは、セリ科の多年草で海岸に自生している野草です。私が住む御所浦町では、昔から若葉を天ぷらにしたり、しらあえにしたりして食べています。

天草長寿草研究会では、健康づくりや地域振興などを目的に、市内27の個人・団体が参加して平成22年から栽培をスタート。耕作放棄地を活用するなどして約3ヘクタールに約7万株を栽培し、今年7月には契約している健康食品会社に、初めて出荷しました。現在、ブランド化を図るため、天草で栽培するボタンボウフウを「藍葉梵天草」として



天草長寿草研究会
黒田公生 会長
(御所浦町御所浦・53歳)

て、商標登録を申請中です。私が考えていることは、この作物の栽培を核とした観光や地域づくりなど、天草の発展です。この実現に向けて、今後もボタンボウフウの栽培・普及を進めていきたいと思っています。

地域振興や耕作放棄地の活用などを目的に、市内でもさまざまな作物の栽培が新たな試みとして始まっています。

そこで、健康野草として注目されているボタンボウフウの栽培を手がける天草長寿草研究会の黒田公生会長と、ウイルスフリー（ウイルスが入っていない）苗によるシモン芋の栽培を始めた、JAあまくさシモン部会の吉鶴大和さんに話をお聞きしました。

試み trial

～ボタンボウフウと
ウイルスフリー苗による
シモン芋の栽培～

収量増加で今後に期待 若い担い手の確保が必要

倉岳町特産のシモン芋を、導入当初の24年前から栽培しています。シモンは、ブラジル原産の白いサツマイモです。葉と芋を粉末にして、お茶やめん類などさまざまな製品が作られています。

このような中、芋の収量が以前と比べて減少。10アール当たり1トン程度で、よくとれていたときの3分の1になっていったんです。そこで、収量増加対策として、県の協力を得て今年からウイルスフリー1苗を導入。私は18アールに約4,000株を植え、先日収穫を行いました。明らか



▲吉鶴さん所有のシモン芋畑



▲収穫されたシモン芋

に収量が増えており、今後に期待が持てると感じました。一方で、倉岳町内でもシモン芋を栽培する人の高齢化が進んでいます。特産として維持するためには、若い担い手を確保しなければならぬと考えています。



JAあまくさ
シモン部会
吉鶴大和 さん
(倉岳町宮田・73歳)

「天草の農業」 私はこう思う

市の農業の現状や今後などについて、みかん専業農家で天草市認定農家の会の福田賢二会長に、話を聞きしました。



天草市認定農家の会
福田 賢二 会長
(本渡町本渡・63歳)

「福田会長から見た、市の農業の現状についてお聞かせください。」

農業を始めて40年がたちますが、農業者の高齢化や後継者・担い手不足、耕作放棄地の増加など、年々深刻化しています。専業農家が少なくなってきたり、ほとんどが兼業農家です。作目ごとに専門的になり、農業経営のあり方も多様化しています。

「農業を取り巻く状況はとも厳しい」と。

はい、事実そうだと思います。情報や交通機関の発達、そしてライフスタイルの変化など、厳しいという状況はほかの職業でも同じだと思います。ただ、やり方次第でチャンスは生まれてくると考え

ています。たとえば、耕作放棄地の増加が問題になっていますが、一方では新たな事業展開や規模拡大のチャンスでもあります。ですから、農業者それぞれのやる気が大事になってくると思います。

問題は、農業者の減少です。従来は農家の子どもが後継ぎとして育ち、就農するのが普通でした。現在はその後継者が少なくなっているのです。いかにUターン者や企業の参入など、できるだけ多くの人を新規就農者として呼び込めるかが重要だと思います。

ただ、新規就農といっても農地の確保や初期投資など、なかなか簡単にはいかないのが現状です。行政をはじめ関係機関では、新規就農に関するいろいろな対策や支援を行

っていますが、まずは農業に意欲のある人たちを、時間をかけて育てていくようなしくみを作ることが必要だと思います。

「天草の農業」の今後についてお聞かせください。

これからも、農業が天草の重要な産業であることに変わりありません。天草の風土の中で、農業で生きていくという覚悟が必要だと思います。「農業の元気は天草の元気」という思いを胸に、これからも取り組んでいきたいと思っています。

耕作放棄地の再生・利用を支援!

耕作放棄地の再生・利用を行う農業者または農業者等が組織する団体などに、補助金を交付しています。補助金額は、農地の所在地のほか自己所有地か自己所有地以外かなどによって異なりますが、おおむね、10アールあたり2万～7万5千円程度です。

なお、補助金の交付を受けるには事前に申請が必要です。取組要件や申請方法などの詳細は、本庁(別館)・農業振興課へお尋ねください。

農地を貸したい、売りたい人は 市農業委員へご相談を!

「農業後継者がいない」「経営規模を縮小したい」「農地の管理ができなくなった」などの理由で農地を貸したい、売りたい人は、市農業委員へご相談ください。なお、お住まいの地区の担当農業委員については、本庁(別館)・農業委員会事務局にお尋ねいただくか、11月15日号「市政だより天草」お知らせ版6ページに掲載していますので、ご覧ください。


















▲補助金を活用して再生された農地

【問い合わせ先】本庁(別館)・農業振興課 ☎ 1111内線2585
本庁(別館)・農業委員会事務局 ☎ 1111内線2562

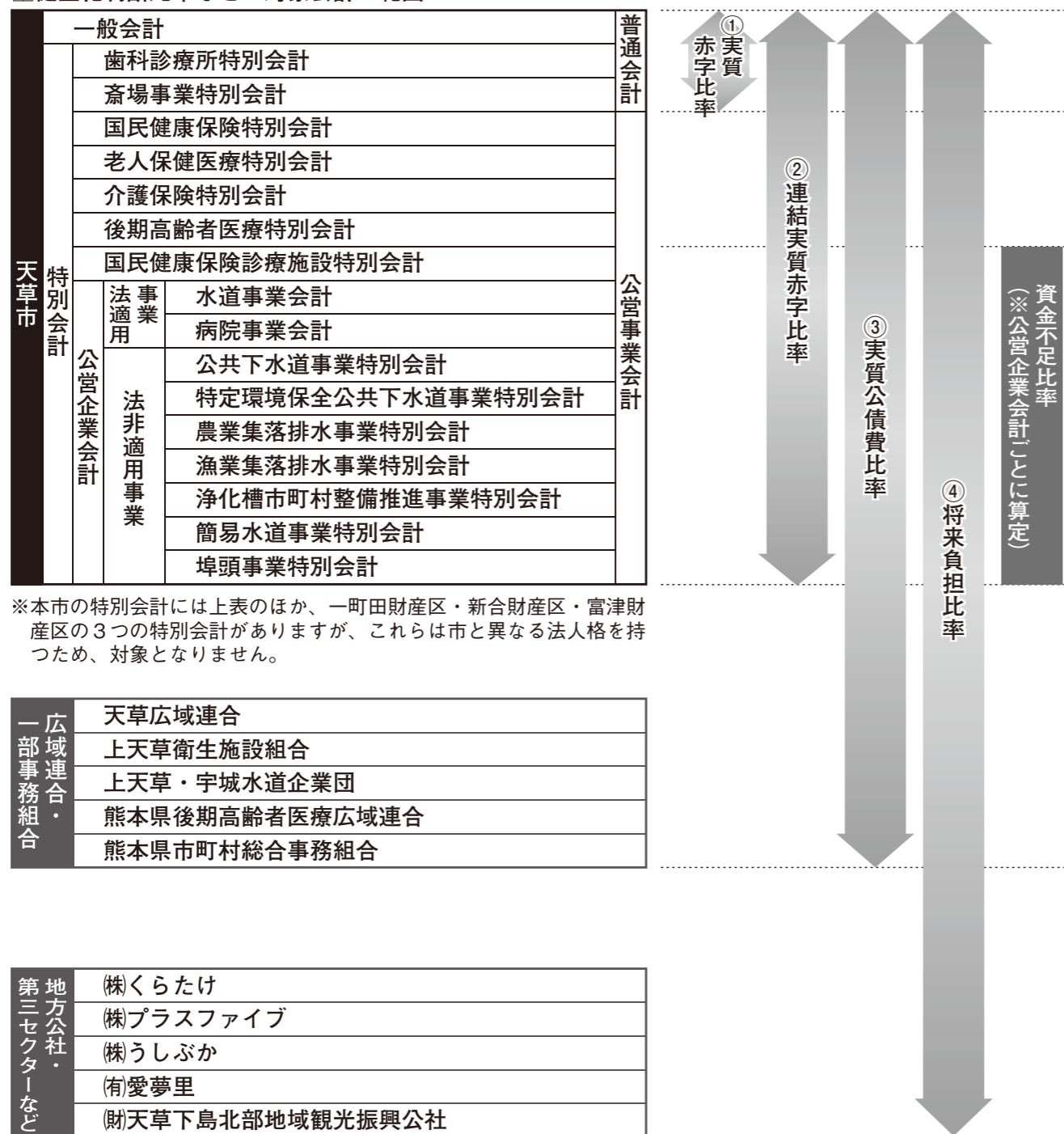
豊かな自然と生産者の愛情にはぐくまれた逸品!

市内で出荷されている主な農畜産物を紹介します(【 】内は出荷時期など)。

 びわ 【5月～7月】	 不知火(デコボン) 【12月～5月】	 お茶 【新茶: 4月～5月】
 くり 【8月～10月】	 あまくさ晩柑 【3月～7月】	 温州みかん 【9月～1月】
 天草緑竹 【6月～10月】	 ポンカン 【12月～2月】	 米 【新米: 8月・10月】
 天草大王	 豚	 天草黒牛

 いちご 【12月～5月】	 ミニトマト 【11月～6月】	 きゅうり 【周年】	 玉ねぎ 【2月～6月】	 レタス 【11月～4月】
 甘長とうがらし 【6月～10月】	 オクラ 【6月～11月】	 スナップエンドウ 【11月～5月】	 さやいんげん 【8月以外】	 じゃがいも 【4月～7月・11月～12月】
 トルコギキョウ(花) 【11月～6月】				

◆健全化判断比率などの対象会計の範囲



※本市の特別会計には上表のほか、一町田財産区・新合財産区・富津財産区の3つの特別会計がありますが、これらは市と異なる法人格を持つため、対象となりません。

一部事務組合・広域連合	天草広域連合
	上天草衛生施設組合
	上天草・宇城水道企業団
	熊本県後期高齢者医療広域連合
	熊本県市町村総合事務組合

地方公社・第三セクターなど	株くらたけ
	株プラスファイブ
	株うしぶか
	有愛夢里
	財天草下島北部地域観光振興公社

【用語の解説】

- ① 実質赤字比率…福祉や教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の普通会計に占める赤字の割合。財政運営の深刻度を示すもの。
- ② 連結実質赤字比率…地方公共団体のすべての会計の赤字と黒字を合算した赤字の割合。地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すもの。
- ③ 実質公債費比率…収入に対する一般会計など

- の借入金返済額の割合。資金繰りの危険度を示すもの。
- ④ 将来負担比率…収入に対する一般会計などの借入金や、将来支払っていく可能性がある負担などの割合。将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。
- 資金不足比率…公営企業の資金不足額が、その公営企業の事業規模である料金収入に占める割合。経営状況の深刻度を示すもの。

【問い合わせ先】 本庁・財政課 ☎ 1111 内線1364

天草市の財政状況

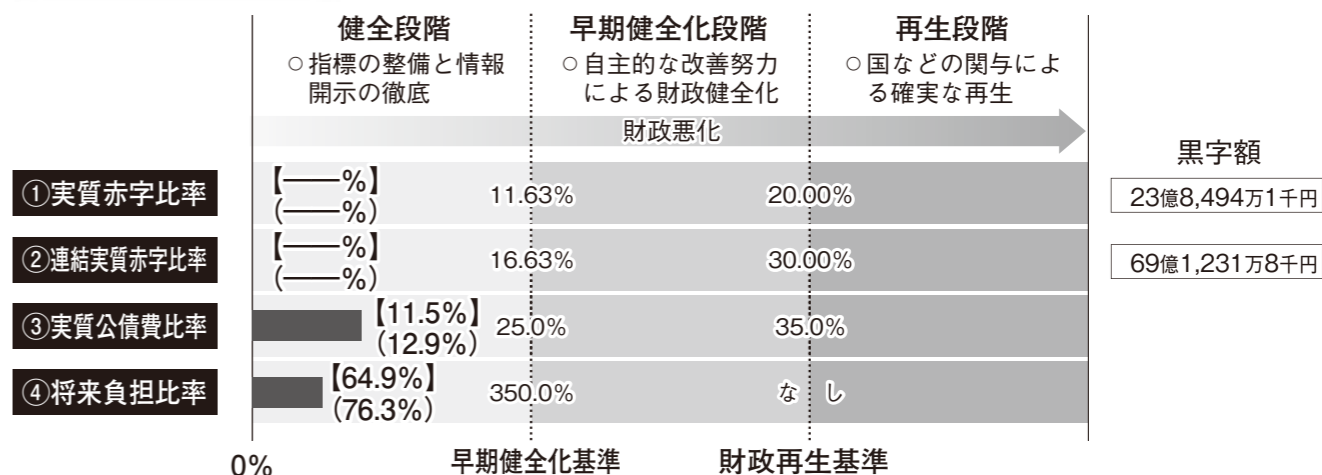
平成23年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率を公表！

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、財政の健全度を示す4つの健全化判断比率と資金不足比率を公表します。市における健全化判断比率と資金不足比率は、いずれも早期健全化基準、経営健全化基準を下回っています。しかし、各指標の数値が基準を下回っていれば問題がないことにはなりませんので、今後も、財政健全化計画に沿った財政運営を行い、財政の健全化に努めます。

なお、各比率の算定方法などについての詳細は、本庁・財政課へお尋ねください。

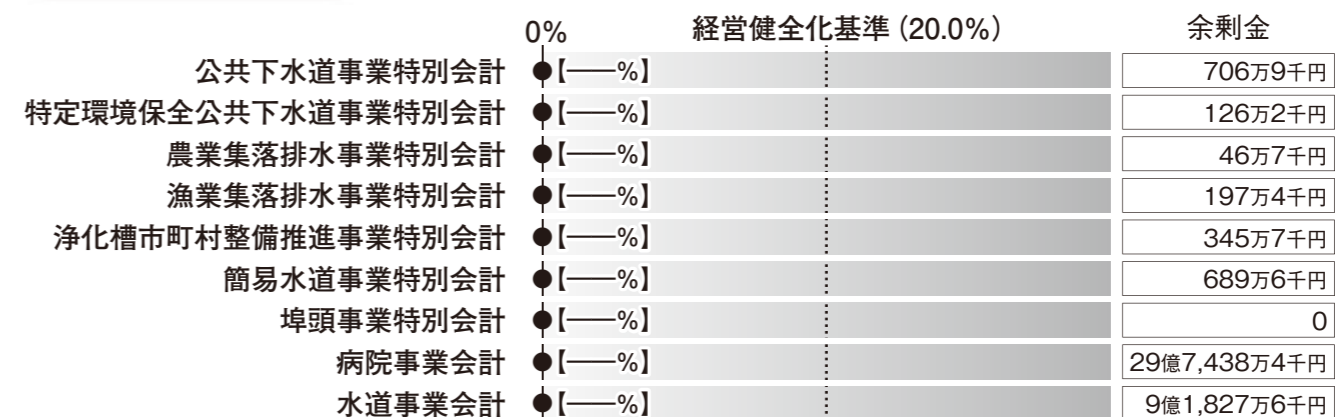
健全化判断比率

財政の健全度を示す実質赤字比率など4つの「健全化判断比率」は、平成23年度はいずれも早期健全化基準を下回りました（下表参照）。
なお、健全化判断比率の対象会計の範囲を次ページに掲載しています。



資金不足比率

各公営企業会計の健全度を示す「資金不足比率」は、平成23年度はいずれの公営企業会計も資金不足は生じていないため、該当ありません（下表参照）。



天草市 この1年

～平成24年の出来事を振り返る～

今年も残すところあと1カ月。この1年、本市ではさまざまな行事や出来事がありました。天草市の“この1年”を振り返ってみましょう。

1月

- 3・4日 本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和・天草・河浦地区で「成人式」を開催。新成人771人が出席。
- 8日 消防出初式が河浦総合運動場で行われ、市消防団員など約1,200人が参加 (写真=1)。
- 29日 熊日郡市対抗女子駅伝大会、郡市対抗熊日駅伝大会 (2月12日) が開催され、市チームとともに優勝 (女子は初、男子は2年連続2回目) を果たす (写真=2,3)。
- 28日 市まちづくり大賞を、天草町の下田南地区振興会が受賞 (写真=4)。

2月

- 1日 市と市内11の老人福祉施設が、災害発生時における福祉避難所の設置・運営に関する協定を締結 (写真=5)。
- 28日 牛深ハイヤ保存会がくまもと県民文化賞 (地域文化活動部門) を受賞 (写真=6)。

3月

- 31日 市内14の小・中学校が閉校。

4月

- 1日 市内14の小・中学校の統廃合により、本渡地区の「亀川小学校」と「本渡東小学校」、御所浦地区の「御所浦中学校」、五和地区の「五和中学校」と「御領鬼池小学校」、河浦地区の「河浦小学校」が開校。

5月

- 20日 市総合防災訓練を、新和グラウンドで実施 (写真=7)。



8



10



9



12



11



14



13



15



17



16



1



3



2



5



4



6



7

6月

- 4日 市議会定例会が開かれ、第4代議長に池田裕之氏、同副議長に平山泰司氏を選出。
- 8日 河浦町崎津地区が世界文化遺産候補の構成資産入りが決定 (写真=8)。
- 14日 下浦町から上天草市松島町を結ぶ上島中央広域農道の愛称が「天草オレンジライン」に決まる (写真=9)。

7月

- 1日 第3代副市長に鶴田謹一氏が就任。
- 20日 市長と語ろう“市政懇談会”を開催 (8月30日まで) (写真=10)。
- 25日 御所浦町の花岡山化石採集場で採集された化石が、国内2例目とみられる“は虫類の皮ふ痕化石”であることがわかる (写真=11)。

8月

- 9日 来年9月に開催される「第68回熊本県民体育祭天草大会」の大会スローガンが、“藍色の空と海に集い絆結ぼう 天草県体”に。また、シンボルマーク (写真=12) が決まる。
- 16日 牛深地域成人式が開かれ、新成人138人が出席 (写真=13)。
- 市と共栄建設株式会社 (天草市) が、楠浦町にある市有地約3.5ヘクタールでメガソーラー (大規模太陽光) 発電所建設に関する協定を締結 (写真=14)。
- 26日 第29回熊本県消防操法大会が大矢崎緑地公園で開かれ、牛深方面隊が市消防団として初優勝を飾る (写真=15)。

9月

- 2日ほか 金婚夫婦245組を表彰 (写真=16)。
- 2～9日 天草アーカイブズ開館10周年記念事業を、天草宝島国際交流会館ポルトで実施 (写真=17)。

10月

- 7日 市消防団牛深方面隊が、第23回全国消防操法大会 (東京都) に出場。

11月

- 12日 市体育館改築工事 (東町) の安全祈願祭を実施 (平成26年1月31日完成予定)。



▲上平港から産島へ海を渡る神輿

神輿が波に揺られて海を渡る

産島八幡宮例祭

10月27・28日、河浦町宮野河内の上平地区で市無形民俗文化財にも指定されている「産島八幡宮例祭」が行われました。この祭りは、初日に同地区の無人島・産島にある産島八幡宮から神輿を船に乗せ上平港まで運ぶ“お下り”があり、上平十五社宮に一晩奉られたあと、2日目の“お上り”で同島へ帰るといふもので、“海を渡る祭礼”として広く知られています。

両日は、大漁旗を掲げた船団による神幸行列や、色鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちによる太鼓踊り、獅子舞などが行われ、多くの見物客でにぎわいを見せていました。

▶太鼓踊りを披露する子どもたち



秋の夜長に笑顔いっぱい!

文化・芸能の祭典2012

10月20日、「文化・芸能の祭典2012」が有明町の楠浦体育館で開かれました。村祭り演芸会実行委員会と楠浦地区振興会が、秋の夜長を楽しんでもらおうと楠浦神社の例祭にあわせて実施しているもの。地区住民によるバザーをはじめ、ステージでは保育園児や地区内外の住民による歌や踊りが披露されました。最後には、お楽しみ抽選会やもち投げが行われ、来場者は笑顔で楽しいひとときを過ごしていました。



▲楽しく踊る健康ダンスクラブの皆さん

地域の祭りが7年ぶりに復活

鬼んびっく

10月28日、五和町の鬼の城公園一帯で「鬼んびっく」が開催されました。市商工会青年部五和支部が、五和町の地域おこしのために7年ぶりに実施したものです。催しでは、先着100人に鬼アゲと銘打った揚げたてのガネアゲがプレゼントされたほか、天草のゆるキャラとの記念撮影会や琉球國祭り太鼓、長洲つもりライブショーなどが行われました。また、鬼ネスステージでは、ストラップ鬼アウト、フリー鬼ック、フリースローなども行われ、来場者は秋の1日を満喫していました。



▲フリースローにチャレンジする参加者

県下最大級の陶磁器展に多くの人出!

天草大陶磁器展

11月1日から同5日まで、県下最大級の陶磁器展「天草大陶磁器展」が天草市民センター特設会場を主会場に開かれました。催しでは、天草地域をはじめ県内外から82の窯元や陶芸家などの作品約20,000点が展示・販売されたほか、ろくろ・絵付け体験や“陶磁器の島AMAKUSA陶芸展”の応募作品の展示と表彰式を実施（結果は下表参照）。

また、天草宝島国際交流会館ポルト周辺では、市出身のアーティストによる里帰り展や、市内外の作家が空き店舗を使って個展などを開く「街中ギャラリー」も開催され、期間中は県内外から多くの人出でにぎわいました。



▲ずらりと並んだ陶磁器を見る来場者



▲ろくろ体験のようす



◀街中ギャラリーのようす



▲グランプリ作品 (PIPE WARE)

陶磁器の島AMAKUSA陶芸展結果 (敬称略)

- グランプリ…松田唯 (船之尾町) ●準グランプリ…金澤宏紀 (船之尾町) ●日比野克彦賞…山下太 (阿蘇市) ●小川哲男賞…岡部俊郎 (本渡町本戸馬場) ●藤原恵洋賞…山口耕三 (玉名郡長洲町) ●鶴田一郎賞…木野智史 (京都府西京区) ●鯉江良二賞…鷹巣翔 (佐賀県武雄市) ●来場者賞…六平 (佐賀県武雄市)



▲講演を行う栗木氏

五足の靴一行に思いをはせて！

五足の靴顕彰全国短歌大会

11月3日、「第27回五足の靴顕彰全国短歌大会」が天草町民センターで開催されました。同大会実行委員会が、与謝野鉄幹ら五人の詩人「五足の靴」一行が天草を訪れたことを記念し毎年実施しているもの。現代歌人協会理事の栗木京子氏による基調講演が行われたほか、短歌会では、県内外から応募があった1,880首の中から、栗木氏ら5人の選者による入賞歌の発表・選評があり、グランプリの『五足の靴大賞』に、一般の部・仁田直美さん（天草町）、高校生の部・池崎真央さん（牛深高校）、中学生の部・黒川賢斗さん（本渡東中学校）の短歌が選ばれました。

また、翌4日には、「かるた大会」を初めて開催。下田北小学校の児童など63人が参加し、白熱した戦いを繰り広げました。なお、同かるたは販売しており、購入方法などの詳細は、同大会実行委員会事務局（本庁〔別館〕・文化課内）☎231111内線2531へお尋ねください。

▶白熱したかるた大会のようす



伝統的な海の交通を知ろう！

伝馬舟体験

10月25日、御所浦町牧島で御所浦小学校の4年生21人が、御所浦に伝わる伝馬舟てんまふねのろこぎを体験しました。同校が、御所浦の海の交通の歴史や、そこに込められた人々の思いを知ることなどを目的に実施したものです。

子どもたちは、伝馬舟の歴史を学んだ後、実際にろこぎを体験。始めは難しそうにこいでいましたが、しだいに上達し、最後は楽しそうに海を行き来していました。



▲楽しそうにろこぎ児童



▲夕食を作る子どもたち

共同生活から学ぶ助け合い

新和小学校通学合宿

10月23日から同27日まで、新和みどりの村で「通学合宿」が行われ、新和小学校の4年生から6年生35人が参加しました。きやうなん宮南半島ツーリズム推進協議会が、自立心の向上や協調性の大切さを学ぶことを目的に実施しているもので、今年で5回目。参加した児童たちは、同村に寝泊りをして通学したほか、お風呂お風呂を沸かしたり、いっしょに食事を作ったりするなどの共同生活を体験。助け合う気持ちの大切さを学んでいました。

潮の香りを感じながら！

牛深ワンわんウォーキング

11月11日、「牛深ワンわんウォーキング」が開催され、県内外から約900人が参加しました。牛深商工会議所が、牛深の自然やまち並みを楽しんでもらおうと毎年実施しているもので、今回は11回目の記念大会。

参加者は、うしぶか海彩館をスタート・ゴールとする5・8・13kmのコースを思いおもいのペースで歩きました。それぞれのコースに設けられたチェックポイントでは、牛深産の“ちくわ”や“いりご”、“みかん”などが配られ、ゴール後には、地元の食材を使ったアオサ丼やイカカツカレーがふるまわれました。参加者は「海からの風が気持ちよかった」と話していました。



▲チェックポイントで「あかねちゃん」(右)からちくわを受け取る参加者

山里に響く子どもたちの歌声

福連木子守唄&童謡まつり'12 in 天草

11月11日、福連木小学校を主会場に「福連木子守唄うた&童謡まつり'12 in 天草」が開催され、家族連れなど約1,500人が来場しました。同まつり実行委員会が、子守唄の保存・継承と地域振興を目的に毎年開催しているもので、今年で18回目。ステージでは、町内外の保育園児による童謡・踊りの発表のほか、ドヨウDOYO組のミニコンサート、平成音楽大学の学生や福連木小学校の児童による『福連木の子守唄』が披露されました。また、物産コーナーでは特産品の販売やバザーの出店もあり、会場は大いににぎわっていました。



▲子守唄を披露する福連木小学校の児童たち

倉岳の魅力再発見！！

モニターツアー

倉岳まちづくり協議会では、倉岳の“食”“景観”“人”に触れてもらおうと10月20日から同22日までの2泊3日で、「天草・倉岳の旅」と題したモニターツアーを実施しました。

ツアーは農林水産省の交付金事業で実施し、神奈川県や福岡市などから23人が参加。シモン芋掘り体験や宮田秋祭り見学などを行ったほか、えびす茶屋などで地魚やシモン料理などの試食を行いました。参加者は「快適な旅でした」と笑顔で話していました。



▲ずらりと並んだシモン料理などをとる参加者

受章おめでとうございます

— 危険業務従事者叙勲、秋の褒章・叙勲 —

危険業務従事者叙勲が10月13日、秋の褒章・叙勲が11月3日にそれぞれ発表され、市内から7人が受章されました。おめでとうございます。



こすが のぶと
小菅 武人 さん
牛深町・71歳
◎瑞宝単光章
元天草広域連合消防司令補



ひろみち
野田 博道 さん
久玉町・70歳
◎瑞宝単光章
元天草広域連合消防司令補



としお
鍛田 敏夫 さん
有明町赤崎・71歳
◎黄綬褒章
(株)鍛田電設代表取締役



せいし
川上 清司 さん
有明町大島子・71歳
◎瑞宝小綬章
元公立高等学校校長



こいで まさひろ
小出 昌廣 さん
天草町大江・75歳
◎瑞宝双光章
元公立中学校校長



あきはろ
濱田 明治 さん
牛深町・75歳
◎瑞宝単光章
民生・児童委員



しげのぶ
山口 重信 さん
深海町・64歳
◎瑞宝単光章
元牛深市消防団団長

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の◎は褒章、◎は叙勲、◎は危険業務従事者叙勲。

企業と地域の新たな関係の構築に向けて！

天草宝島起業塾

市では、京都大学経営管理大学院と連携し、「二地域就労プロジェクト」として「企業と地域の新たな関係の構築」や「起業」に向けた取り組みを進めており、この取り組みの一つとして9月1日から10月21日まで「天草宝島起業塾」を開催しました。同塾には、公募で集まった17人が参加。期間中に「ビジネス経営の基礎」など6回の講座を開催し、同21日には、受講生の中から6人を選出し、ビジネスプランコンテストが行われました。参加者は、思いおもいの起業プランの発表を行い、審査の結果、最優秀賞に中村いすずさんの



▲発表を行う参加者

天草更紗を通し天草の魅力発信を行う事業「天草の行まい（満足）」が選ばれ、そのほかに優秀賞3人が選ばれました。

天草に電燈が灯って100年！

天草電燈開業100周年記念式典

天草に初めて電燈が灯って11月7日で100年になりました。天草では、明治45年7月12日、旧志柿町出身の青年実業家福田梅吉氏により、天草電燈株式会社が設立され、大正元年11月7日、現在の東浜町に天草で最初の本渡発電所が営業運転を開始し、本渡中心部の725灯にあかりが灯りました。それから、48年後の昭和35年12月には、天草のすべての地域に電燈が灯りました。

11月7日には、天草電燈開業100周年を記念して、関係者など67人が参加して、本渡発電所跡地の天草電燈開業記念碑の前で記念式典が行われました。



▲天草最初の発電所・本渡発電所（大正元年11月7日）



◀記念式典のようす



▲写真を懐かしそうに見る来場者

昭和30年代の天草を映画で懐かしむ

本渡歴史民俗資料館開館30周年記念秋期特別展

12月28日（金）まで、今釜新町にある本渡歴史民俗資料館で、『本渡歴史民俗資料館開館30周年記念秋期特別展「天草～映画の時代～」』が開催されています。

同館が、昭和30年代に40を超える映画館が存在した天草を、映画の歴史を通して楽しんでもらおうと実施しているもの。当時の映画館の建物の写真や映写機、天草の映画の年表の展示のほか、天草で撮影された映画の上映会も実施されています。11月3日には、来場者が展示された写真などを懐かしそうに見入っていました。

今年も大盛況！

栖本かっぱ祭り

11月4日、「栖本かっぱ祭り」が栖本総合グラウンド駐車場で開催されました。栖本まちづくり協議会が、町内を流れる河内川の恵みに感謝し、1次産業の活性化を目的に実施しているもので、今年で14回目。会場では、栖本保育所園児による「へのかっぱ音頭」や栖本小学校児童による「栖本かっぱ太鼓」などのステージイベントを実施。また、天草大王・ステビア米など地元でとれた農産物を使ったバザーやもちつきなども行われ、多くの来場者でにぎわいました。



▲地区の人といっしょにもちつきをする来場者



栖本保育所（栖本町）

園児フォトスナップ



みんななかよし、あいりんえんじ!!
愛隣保育園（亀場町）

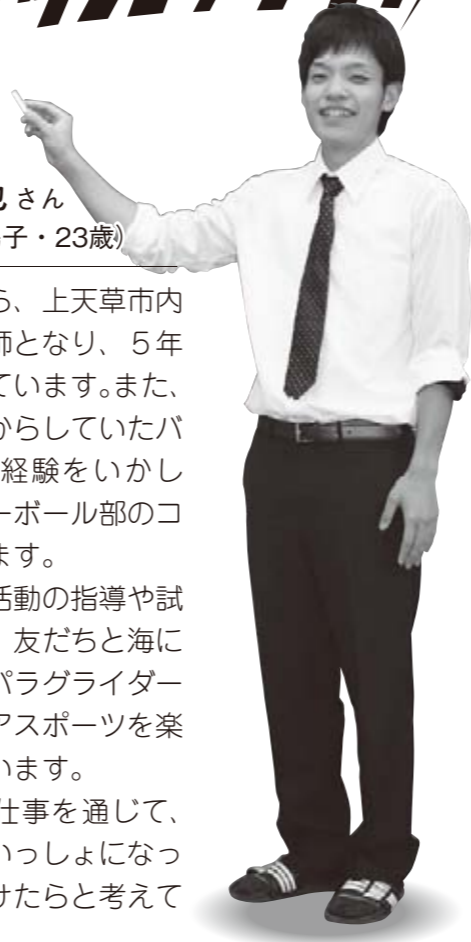
若っ喝采
ワッガッサイ!!

井上直也さん
(有明町大島子・23歳)

今年4月から、上天草市内の小学校の講師となり、5年生の担任をしています。また、中学生のころからしていたバレーボールの経験をいかして、同校バレーボール部のコーチもしています。

休日は、部活動の指導や試合などのほか、友だちと海に出かけたり、パラグライダーなどアウトドアスポーツを楽しんだりしています。

教員という仕事を通じて、子どもたちといっしょになって成長していけたらと考えています。



天草の元気が大集合! ひろば
みんなの広場



イラスト：ひで海さん
(天草町)



おどろき夫婦

吉田 隆廣さん(78歳)
敬子さん(74歳)
(栖本町湯船原)

昭和36年結婚
(52年目)

◆夫婦円満の秘けつを教えてください。

お互いを信じて、ときにはけんかもしながら暮らすこと。言いたいことをがまんしたり、溜め込んだりしてはだめだと思います。また、それぞれが持っている趣味の時間をつくることも、大切だと思います。

◆お互いにひとことお願いします。

隆廣さん：健康で長生きはもちろんのこと、今まで以上に仲良く、いたわりあって生きていきたいと思います。

敬子さん：今も現役で仕事をがんばっているので、体に気をつけてください。

ザ・部活動
部活動がんばる中学・高校生



北部九州インターハイ出場を目指して

田中 唯さん

天草高校倉岳校（倉岳町）空手道部・2年

小学3年生のころから、地元の御所浦町で空手道を習っており、高校でもっと高い技術を身につけたいと思い入部しました。部員は7人と少ないですが、先生の熱心なご指導のもとで日々練習に励んでいます。船で通学しているため、平日は1時間、土・日曜日は4時間と限られた時間の中で練習内容を濃く、集中して取り組むように心がけています。今年9月の城南地区大会では個人形で優勝し、2連覇することができました。次の目標は、北部九州インターハイに出場すること。“有言実行”となるようにがんばります。



作品名：「ニワトリのえさやり」

おにき
魚貫小学校（魚貫町）
4年 池上尚緒さん



ニワトリにえさをやっている自分を描きました。ニワトリの羽を、一枚いちまい細かくていねいに表現しました。



作品名：「ふるさとの神社」

本町小学校（本町）
6年 倉田侑季くん



鳥居を描くときに、光と影や柱の感じがでるようにくふうしました。自分では、落ち着いた感じで、いいきばえだと思っています。



松川 誠治 さん
(河浦町河浦・60歳)

菊花づくりは生きがい

天草菊愛好会(会員5人)の代表。同会では、11月1日から同15日にかけて「天草菊花展」を総合交流施設愛夢里(河浦町)で開催。会員らが丹精込めて育てた大菊や小菊、盆栽菊など300点を展示し、来場者の目を楽しませた。

松川さんが菊花づくりを始めたのは8年前。医師からがんを告知されひどく落ち込んでいたときに、熊本市内で開かれていた菊花展をたまたま訪れたのがきっかけだったという。「ひと目見てすばらしいなと思って。そのときに、会場で菊花づくり教室の生徒を募集していたんです。病気のことを少しでも忘れたらいいという思いもあって、すぐに受講を決めました」と松川さん。その後、同教室に3年間通い菊花づくりの技術を習得。講師に認められ日本菊花会主催の全国大会にも出品するようになり、昨年は小品盆栽菊の部で4位入賞を果たした。そして、松川さんの体をむしばんでいたがんは、手術・治療が功を奏し完治した。

一方、「自分が培った菊花づくりの技術を、より多くの人に広めたい」と松川さん。現在は、自身の菊花づくりのかたわら市内各地で講習会を実施するほか、近隣の中学・高校の生徒にも普及を行っている。

「がんに立ち向かうことができたのも、菊と出会うことができたから。菊花づくりは、ほんとうに生きがいです」。咲き誇る大輪の花を眺めながら、松川さんは笑顔で話してくれた。

※講習会を受講したい人など菊花づくりに興味がある人は、松川さん ☎090(8409)2617へ。



▲盆栽菊の手入れをする松川さん

今月の

h i t o

ハッピーバースデー

…今月で1歳になります…

投稿
コーナー



犬童 愛斗くん
佐伊津町
父・卓磨さん 母・美里さん

みんなに優しく、すくすく育つね。



西崎 妃菜多ちゃん
五和町二江
父・大輔さん 母・祐子さん

わが家のいやし系アイドル。お姉ちゃんと仲良くね!!



久保 芹斗くん
牛深町
父・一寛さん 母・美栄さん

おにいちゃん、おねえちゃん大好き♡



友田 結華ちゃん
本渡町広瀬
父・誠さん 母・知子さん

けいちゃん、あーちゃん、いつもお世話してくれてありがとう♡



池田 夢翔くん
牛深町
父・廣喜さん 母・友紀さん

つばさお姉ちゃん大好き♡なかよくしてね!!



村本 結唯ちゃん
五和町二江
父・政司さん 母・久美さん

いとこのお姉ちゃん、お兄ちゃんいっしょに遊んでね。



勝木 舟月くん
五和町二江
父・正太郎さん 母・沙織さん

お散歩大好き♡いじいじ、ばあば、たくさんお散歩連れてってね!!



濱 優月ちゃん
亀場町亀川
父・隆志さん 母・美奈子さん

楠浦と有明のいじいじとばあば、いつもありがとうございます。



富田 悠生くん
浜崎町
父・誠至郎さん 母・直子さん

みんなからかわいがられ元気になってます。大きくなつてね!

皆さんからの投稿を募集しています! ●応募期限=12月10日(日)まで(必着)。

〈1月で満1歳になるお子さん〉

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

〈読者のつぶやき〉

●応募方法=身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、150字程度をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入してください(応募者多数の場合は選考)。
※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。
※採用されたつぶやきは、この紙面に掲載します。

【郵送・持参先】〒863-8631 市内東浜町8-1 (郵送の場合は住所記載不要) 天草市役所・秘書課



市長随筆

Mayor Essay

生きがいつくりなど 心新たに

7回目を迎える天草マラソン大会が11月18日、本渡運動公園陸上競技場前をスタート・ゴールとするフルマラソン、ハーフマラソンの2種目で開催されました。

秋晴れの最高のコンディションの中、参加者の皆さんは、完走や自己記録更新を目指して、友だちとの楽しみとしての参加など、さまざまなお気持ちで秋の天草路を満喫されたようです。

今年の大会は、昨年より約370人多い3,069人が参加されました。スタイルもさまざま、着ぐるみを着た人、パールックでの参加、鮮やかな色あいのスタイルなどなど。中でも目を引いたのが、Tシャツに「金婚記念」と書かれたご夫婦。なんともうらやましいことです。お二人仲良く、この大会に参加されるということは、日ごろからご健康で楽しい生活を送られているのではないかと想像いたしました。

10月末現在で本市の高齢化率は33.1%で、3人に1人が高齢者という数字が出ています。マラソン大会でのご夫婦のお姿を拝見して、市内の高齢者の皆さんがいつまでもお元気で活躍していただけるように、生きがいつくりや社会参加ができる環境づくりなど、なおいっそう取り組んでいかなければならないと心新たにいたしました。

天草市長 安田公寛

家庭用ゲーム機の トラブルにご注意!



家庭用ゲーム機の中には、インターネットに接続することでゲームソフトなどを購入できるものがあり、子どもが保護者の知らないところで使用し、後々トラブル(クレジットカードの請求など)になる事例が増えています。ゲーム機を子どもが使用する場合は、「注意書き」をよく読んで、あらかじめ「保護者による使用制限」を設定することで、トラブルを未然に防ぎましょう。詳細は、市消費生活センターへご相談ください。



【問い合わせ先】

天草市消費生活センター ☎ 26677

実践 エコ 暮らしのECOセトラ

すぐできる わが家の冬のエコ対策

冬は、家庭での電気やガス、灯油などの使用量が増える季節です。暖房機器を使うのを「がまん」するのではなく、使い方を見直し、環境にやさしい暮らしを実践しましょう。

【暖房器具】

- 暖房時の室温は20℃を目安に。
- ひざかけや靴下で体感温度をアップ。
- こたつ布団には、上掛けと敷布団をあわせて使用。

【お風呂】

- 間隔をあけずに、家族で続けて入浴を。
- 上がるときは、浴槽にフタを。

【トイレ(温水洗浄便座)】

- 使わないときは、便座のフタを閉める。
- 洗浄水や便座は適切な温度設定に。

【その他】

- 洗濯物の部屋干しは、室内の加湿に効果があります。
- 寒い冬こそ、徒歩や自転車で体温をアップ。

【問い合わせ先】

本庁・環境課 ☎ 21111内線1283



▲(株)九電工での搾油の様子

10月中旬を過ぎたころから、緑色だったオリーブの実がだんだんと赤色から黒色へ熟し始め、市内の4つのほ場(倉岳、御所浦、(株)九電工、(有)共栄ファーム)でもオリーブが収穫されました。収穫された実はさっそく、(株)九電工や(有)共栄ファームの搾油機へ。搾油機では、まず、オリーブの実を種ごと粉砕。粉砕した実をゆっくりと練って油の分子を抽出しやすくした後、遠心分離機を使って搾りかすや水などと油を分離。出てきた油をろ過して、オリーブオイルのできあがりです。少量の果実であれば、袋に入れた果実を指で潰し

ながらよく揉みまます。その後、ろ過してでてきた上澄み分のオイルをすくって使用します。今年、市内で収穫された実は合わせて約530kg。約40リットルの天草産オリーブオイルが誕生しました。(株)九電工で収穫された果実は品種ごとに搾油されたので、それぞれの品種独特の味や香りのオリーブオイルに。一方、倉岳、御所浦、(有)共栄ファームはさまざまな品種を混ぜて一度に搾油されましたので、搾り方によって味や香りが異なるオリーブオイルになりました。

※詳しいことは、本庁(別館)・農業振興課 ☎ 11111内線2585へお尋ねください。

収穫した果実からオリーブオイルを搾油!



オリーブの島づくり

たより



黒島

御所浦島の西4km、御所浦港から船で15分のところに浮かぶ周囲約1.9kmの無人島「黒島」。夏場は海水浴やキャンプをする観光客でにぎわいを見せ、干潮時にはとりの「ひょうたん島」へ歩いて渡ることができます。

島名のとおり、潮が引くと教良木層という約4,700万年前の深い海でできた、黒い岩石の地層が現れます。また、海水浴場は金平糖に似た形をした真っ白な砂のようなものできていますが、これは「石灰藻」という海藻の骨格です。

この島では、「生痕化石」と呼ばれるゴカイなどの生物がはいまわった跡の化石が見つかります。



▲黒島で自然観察を行う子どもたち



石灰藻▶


【問い合わせ先】 御所浦白亜紀資料館 ☎ 2325





今月号の表紙

10月27・28日、五和町の御領門前町商店街一帯で「御領石竹秋宵まつり」が開催されました。来場者は、約5,000個の灯ろうの幻想的なあかりを楽しんでいました。

編集後記 あとぜき

 地元の神社の祭りです。初めてでしたが、先輩からの温かい指導でりっぱなしめ縄が完成。今年も早いもので残すところあと1カ月。家内安全を祈願し、今年自分がつくったしめ縄を家に飾ろうと思います。【剣】

 今年もあと1カ月になりました。1月1日号の“あとぜき”に、「1年の最後に笑ってられるように、プラス思考で！」と書きましたが、何とか笑顔で終われそうです。来年も「市政だより天草」と“海”をよろしく願います。【海】

 突然ですが、とうとう体に異変が起きました。「フンッ！」と息を吸い込んでおなかをへこませないと、スポンが入らなくなりました。この1年、私にとってはどうやら体つきだけが“飛躍の年”だったようです…。【素】



【編集・発行】
熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp

天草印 農林水産物



Vol.8 デコポン

12月1日から、特産のデコポンの出荷がいよいよスタートします。デコポンは、JA熊本果実連の登録商標で、不知火という品種のうち、甘さ、すっぱさの基準をクリアしたものをいいます。年内は主に贈答用として、関西・関東方面に出荷されます。



手軽においしく

ささっと
レシピ

ひじき入り豆腐ハンバーグ

●材料・分量 (8個分)

もめん豆腐 ……1丁
玉ねぎ ……中1個
ひじき(乾物) ……15g
干しいたけ ……30g
片栗粉 ……大さじ3
卵 ……1個
塩・こしょう ……少々
サラダ油 ……適量

④ { みりん ……大さじ1
薄口しょうゆ ……大さじ1
しょうが汁 ……大さじ1
塩こうじ ……大さじ1

●作り方

- ①もめん豆腐は、布きんに包んで水気を取った後、小さくつぶす。
- ②ひじき、干しいたけは水で戻し、みじん切りにする。
- ③フライパンにサラダ油を引き、みじん切りにした玉ねぎをきつね色になるまでいため、塩・こしょうをふる。
- ④①・②・③、片栗粉、卵、④をボールに入れ、混ぜ合わせる。
- ⑤④を8等分にし、小判型にする。
- ⑥フライパンにサラダ油を引き、⑤を中火で両面を焼く。こげ目がついたらふたをして、蒸し焼きにする。

提供：市食生活改善推進員協議会